

グローバル人材育成会のロゴの意味

「産産学連携」(※1)とは

産(地域内)産(地域外)学(秋田高専等の学術機関)の連携を意味する造語。

「共同教育プログラム」(※2)とは

人材育成と技術の社会実装を別々ではなくあわせて行う産学連携による教育プログラムであり、米国の産学連携では、この方式が一般的です。

地域のオープンイノベティブなエコ・システムの構築には、秋田高専の実践的共同教育プログラムが重要なファクタになると考えております。

## ご賛同/ご支援いただける企業の皆様へ

国策とも絡み、今後高専からは、優秀な技術者人材を地域内外にバランス良く輩出していくことが要求されております。

このためには、学術機関と産業界のタグを強化し、産業界の視点も取り込んだ、若者のキャリア形成と、早期からの社会実装研究への参加が望まれるところで。ひいてはこの活動が、より優秀な若者人材を地域から確保することにも繋がります。

これらのことを踏まえ、本校が進める「グローバル人材育成会」の趣旨にご賛同いただき、継続的にご支

援いただける日本全国および海外の企業様から、年度毎のご支援(年会費1口5万円)を承ります。

ご紹介している研究会、懇談会、面談会等への参加は会員企業様に限定させていただきますことをご承知ください。

## 地域企業および在校生の皆様へ

地域の企業の皆様におかれましても、本会の趣旨にご賛同いただき、地域内外の技術力、人材力の循環を図るべく、本会への入会をご検討いただきたく存じます。なお、産学協定会会員企業におかれましては、同会は本会への早期合併の方向で計画が進められていることを申し添えいたします。

秋田高専の在校生諸君、入学希望の皆さんには、本校や秋田の枠を超え、地域内外との連携によって、インターンシップへの参加、社会実装研究の実施等、キャリアアップをはかる貴重な機会を提供していきます。これらの体験によって、課題発見とその解決を自ら実践することでグローバル人材へと飛躍して欲しいと考えています。このしゅきみを持続するための源は、皆さん自身であるといえます。

## グローバル人材育成会への入会 およびお問い合わせなど

〒011-8511

秋田県秋田市飯島文京町1番1号

秋田工業高等専門学校グローバル人材育成会事務局

E-mail: coop-edu@akita-nct.ac.jp

TEL: 018-847-6108 FAX: 018-857-3191

本会URL: <http://akita-nct.coop-edu.jp/>

学校URL: <https://www.akita-nct.ac.jp/>

産学連携関連URL:

<https://www.akita-nct.ac.jp/cooperation/>



本会URL



学校URL



産学連携関連URL



NITAC-GHRD

# 秋田工業高等専門学校 グローバル人材育成会 のご案内

## 会員企業様募集!

キャリア教育と研究活動を通じた  
オープンイノベーション  
エコ・システムの構築に  
ご支援ください。

## グローバル人材育成会とは

秋田工業高等専門学校では、本校内外の知を結集することで持続的社會を構築するグローバル人材の発掘と育成、受け入れにご協力いただける民間企業の皆様によって構成される「グローバル人材育成会」を創設いたしました。

グローバル人材とは、グローバルな視野や経験を活かして、地域社会や地域経済に貢献できる人材であり、本会はグローバル人材を発掘・育成し、国内外に輩出する拠点となることを目指します。

## 本会のねらい

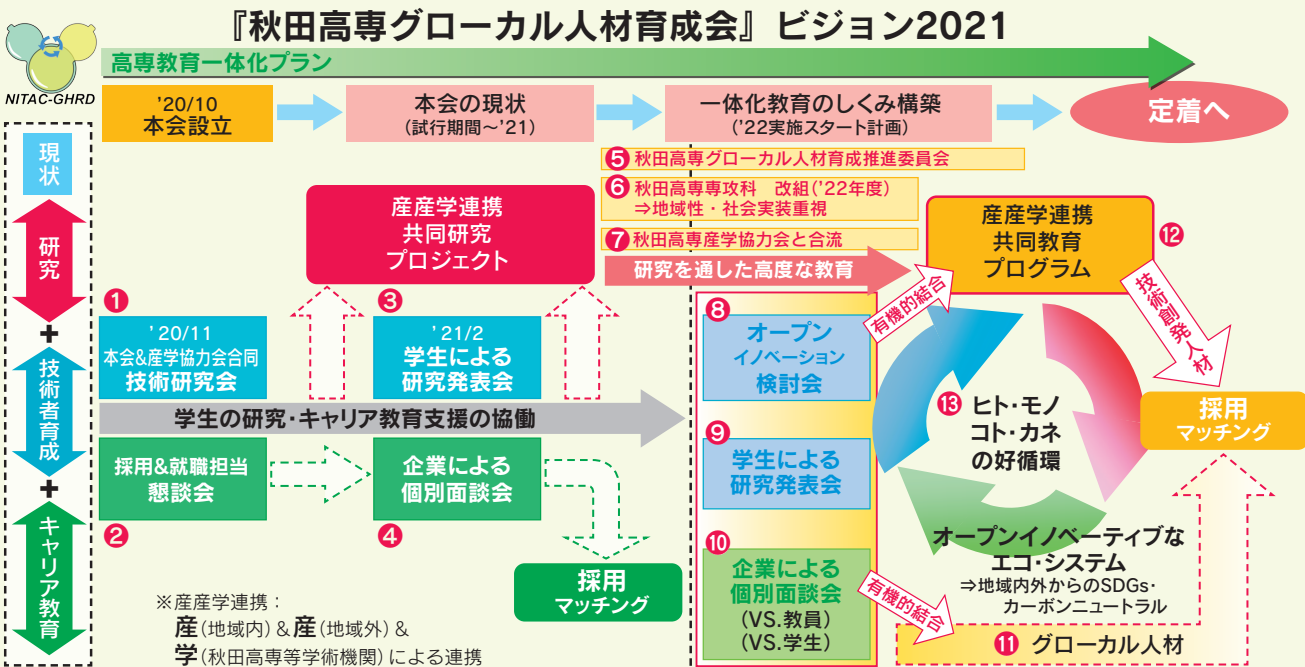
- (1) 国内外で活躍するための教養的基盤と専門的知識／技能を有する人材
- (2) 国内外の技術ニーズを技術開発／基盤研究によって解決できる人材
- (3) 本科5年あるいは専攻科も含めた7年の、秋田高専内外の知と技術を結集した高度なエンジニアリングデザイン能力を修得した人材
- (4) グローバルな視点を持ち、地域社会のみならず国内外に貢献できる人材

を育成する「秋田高専一体化教育」をグローバルに展開する拠点を形成します。

## 「秋田高専グローバル人材育成会」ビジョン2021

### 本会の現状（試行期間～2021年度）

産業界や海外からも着目されている高専教育のさらなる高度化を図るべく、「高専教育一体化プラン」を掲げ、本会は2020年10月に発足しました。会員企業から役員を選出し協議によって、「産と学の共創的な視点」から「高専教育一体化プラン」をスタートし、現状では会員企業数83社（2021年5月現在）となりました。



2020年度は、学校全体で以下の取組を行いました。

### 【2020年11月】

#### ①技術研究会

産産学連携の契機の間を創出

#### ②採用&就職担当懇談会

企業の人材ニーズを共有

### 【2021年2月】

#### ③学生による研究発表会

共同研究の種を共有

#### ④企業による個別面談会

会員企業様と学生のキャリア教育支援を協働  
産産学連携共同研究プロジェクト形成と学生の採用  
マッチングの実現を図ります。

### 一体化教育の仕組み構築（2022年度実施スタート計画）

本会の設立と関連して、本校では、

#### ⑤「秋田高専グローバル人材育成推進委員会」を設置（2021年度～）

#### ⑥専攻科改組（2022年度予定）によって、地域性・社会実装を重視した教育研究を展開

#### ⑦県内企業を会員企業とする外郭団体「秋田高専産学協会」（会員企業数90社（2021年5月現在））と本会の拡大的合併を計画しております。これにより、

#### ⑧秋田高専の研究者を核とした地域内外の企業研究者・技術者、地方公共団体、他の学術機関とのオープンイノベティブな討論の場

#### ⑨採用に係るニーズとシーズの産産学での共有化

#### ⑩学生に対するキャリア教育支援 これらが、有機的に結合することにより、

#### ⑪グローバル人材を地域内外に輩出

#### ⑫産産学連携（※1）の共同教育プログラム（※2）によって、地域内外における

#### ⑬ヒト・モノ・コト・カネの好循環システムを、SDGsおよびカーボンニュートラルといった目標設定からバックキャストによって、オープンイノベティブなエコ・システムの構築を官も含めた産産学の共創によって実現したいと考えます。